

<発表内容>

参加者 18 名（内訳 男性 5 名、女性 13 名）

■携帯電話の、学校への持ち込みに反対する理由

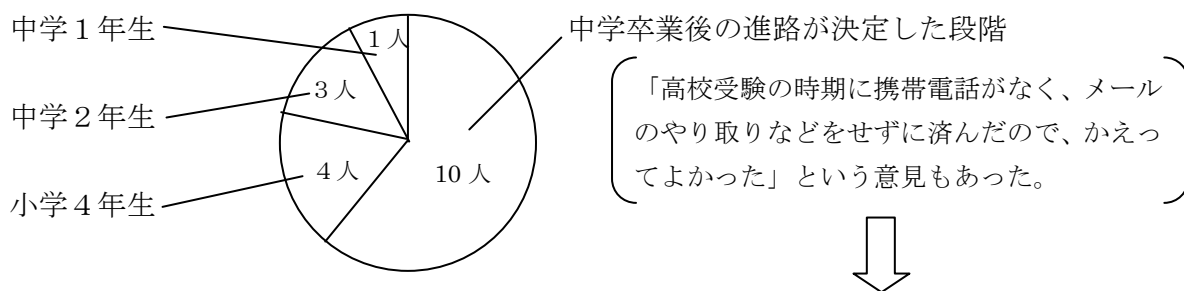
- ・ 学校にいる時は学校を通じて、あるいは校内の公衆電話で連絡が可能。携帯電話を持ち込むと、休み時間の過ごし方も変わってきてしまうのではないかと。
- ・ 学習、団体生活等に支障を来す状況は避けなければならない。
- ・ 子どもに携帯電話を持たせていない家庭もあり、学校に必要な物は持ってくるべきではない。
- ・ 授業中でもメールを受信すると授業に集中できなくなる。
- ・ 学校では、友達や先生と面と向かって自分の考えや思いを言葉にし、コミュニケーションを図ってほしい。
- ・ 忘れ物や下校が遅くなるなど、些細な事でも容易に連絡が取り合う事ができてしまう。
- ・ 本来の目的である、「緊急時の使用のみ」にとどめておくことは不可能なのではないか。

■提案事項

- ・ 家庭によっては「なぜ携帯電話を学校へ持って行ってはダメなのか」と言ってくることもあり、学校と家庭での話し合いが必要である。
- ・ 子どもを危険な環境から守るには、学校だけに頼っていけないが、親だけでも無理。学校と家庭、時に地域の協力もお願いすることが必要なのでは。
- ・ 受験期、携帯電話を持たせていなかったが、メールなどの返信をしなくて済むので逆に良かった。
- ・ 親が仕事で帰りが遅い場合、子どもの学童保育からの帰り道の事を考えると、GPS 機能付き携帯電話などは安心を与えてくれる。
- ・ 学校では必要ないが、クラブの帰りが遅くなると心配なので娘に持たせた。

■事前アンケートでは・・・

Q 子供が何歳のときに携帯電話を持たせたか？



これは、子どもの本音でもあるのではないかと  
子ども自身も、煩わしさを感じる事も時にはあるのでは？

結論

学校への持ち込みは反対。しかし、生活のなかでは上手に使わせていきたい。